

令和7年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・基本的な用具や材料の扱い方を身に付けられたことで、自分の思いに合わせて表現方法を選択したり、様々な工夫を試したりすることが出来るようになった。
- ・三人一組の班の中で役割分担をし、協力して活動の準備片付けを行うようにしたことで、用具を大切に扱うことや最後まできちんと片付けることに対して、段々と意識が高められた。
- ・活動の導入や技法説明の際に ICT 機器を活用して視覚的な指示を増やしたことで、見通しをもって活動に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・作品制作において、学習内容や発想力を生かして自分らしく工夫をしたり、よりよくしようと試行錯誤をしたりする意識が弱く、答えを他者から得ようとする傾向がある。
- ・自分の成果物に対して愛着をもち、想像力をふくらませて試行錯誤しながら活動に取り組むことが出来るよう、題材設定や活動内容の工夫が必要である。

2 授業改善のポイント

① 低学年
・制作活動を通してつくり出す喜びを感じられるように、手や体の感覚を働かせて取り組む題材設定や活動内容の工夫をする。 ・用具や身近な材料の基本的な扱い方を身に付け、自分の思いどおりに操作できるようになるために、ミニ題材を適宜取り入れる。 ・自分の作品を発表したり、お互いの作品を見たりする活動を取り入れることで、自他の活動のよさを認め合い、自信をもって活動に取り組むことができるようにする。
② 中学年
・制作活動を通してつくり出す喜びを感じられるように、想像をふくらませ、試行錯誤することで達成感を感じられるような題材設定や活動内容の工夫をする。 ・用具や身近な材料の基本的な扱い方を身に付け、自分の思いどおりに操作できるようになるために、ミニ題材を適宜取り入れる。 ・自分の作品を発表したり、お互いの作品について話し合ったりする活動を取り入れることで、自他の活動のよさを認め合い、自信をもって活動に取り組むことができるようにする。
③ 高学年
・制作活動を通してつくり出す喜びを感じられるように、これまでの学習内容を生かしたり、自分らしく発想を広げて取り組んだりすることが出来る題材設定や活動内容の工夫をする。 ・用具や身近な材料の基本的な扱い方を身に付け、自分の思いどおりに操作できるようになるために、ミニ題材を適宜取り入れる。 ・自分の作品を発表したり、お互いの作品について話し合ったりする活動を取り入れることで、自他の活動のよさを認め合い、自信をもって活動に取り組むことができるようにする。